



町出身者らが集い懇談 町のさらなる発展誓う

町合併60周年記念「ふるさと葛巻を語る会」は5月31日、くずまき高原牧場もく・木ドームで開催され、県内の葛巻出身者や町民ら約100人がワインや乳製品を味わいながら懇談し、町のさらなる発展へ気持ちを新たにしました。

はじめに、鈴木重男町長が「今をつないで未来へ」と題して記念講演。鈴木町長は、医療や教育、産業、定住など各分野の町の施策を紹介し、「町でできるものは町で行い、人口減少に歯止めをかけていきたい。結束しながら、次の時代につないでいくのが我々の役割」と強調しました。参加者は思い出を語り合い、「誇りを持てる町に発展した。さらに素晴らしい町にしてほしい」と話していました。

「今をつないで未来へ」と題して記念講演した鈴木町長



保育園児のバイオリン 今年も教室がスタート

町が昨年からはじめた保育園年長児のバイオリン教室。今年から児童館の子どもも加わり、6月から各保育園を会場に本格的なレッスンが始まりました。昨年同様、教室は2週間に一度のペースで行われ、子どもたちは目を輝かせながら練習に励んでいます。

今年取り組む曲は「かえるのうた」。県弦楽研究会（菊池昭子会長）が指導に当たり、10月の町連合音楽会での発表を目指します。菊池会長は「2年目なのでスムーズにレッスンに入れました。バイオリンのいい音で音楽を楽しんでほしい」と話します。葛巻保育園の川向千穂ちゃんは「先生も優しいので頑張って練習したい」と意欲満々です。

子ども一人一人にきめ細かな指導を行う県弦楽研究会と真剣な表情で練習に励む園児ら（葛巻保育園）

中高一貫の進路講演会 学ぶ意義について講話

葛巻高校（梅津久仁宏校長、生徒133人）は6月8日、同校体育館で進路講演会を開催しました。中高一貫教育の一環として行われ、同校の生徒と町内の中学3年生ら約200人が出席。富士大学経済学部の佐々木修一教授から「私たちは、なぜ学ぶのか？」と題した講話を聴きました。

県立高校の校長や県教育次長を歴任するなど教育分野の経験が豊富な佐々木教授は、イタリア料理レストランを全国展開するサイゼリヤの正垣泰彦会長の言葉を取り上げ「仕事が自分を磨くためのツールだとしたら、学校で学ぶのは自分の磨き方。学ぶ理由はいろいろあると思うが『誰かのために』という考え方を加えてほしい」と訴えました。



学ぶ理由に「誰かのために」という考え方を加えてほしいと訴えた佐々木教授

江刈小学校が授業公開 複式教育の充実を探る

町教育委員会などが主催する平成27年度第1回町複式教育授業研修会が6月18日、江刈小学校（金沢卓司校長、児童29人）で行われ、県内外の教員ら約60人が複式教育のさらなる充実のために方策を探りました。

参加者は、3年生3人と4年生6人の複式学級、5年生3人と6年生5人の複式学級の算数の授業を見学。その後の分科会で指導法や授業の進め方などを意見交換しました。

その後、東京大大学院の市川伸一教授が講演。市川教授は公開授業について「自立をテーマに共通性ある授業を行っている」と評価。「全ての児童生徒がやりがいを持てる、教えて考えさせる授業が大切」と話しました。



5～6年生の複式教育の公開授業を見学する県内外の教員ら

校庭に建設機械が集合 葛巻小児童が乗車体験

県建設業協会盛岡支部青年部会（木下伸一会長、会員34社）主催の「建設業ふれあい事業」が5月28日、葛巻小学校（藤村一夫校長、児童115人）で行われ、全児童が建設機械の試乗や操作を体験し、建設業への理解を深めました。

校庭に高所作業車1台、バックホー4台、ロードローラー2台が勢ぞろい。高所作業車の体験では、児童たちを乗せたデッキが約15メートルの高さまで上昇し、作業現場の高さを肌で感じました。遠藤圭心さん（4年）は「とても高く興奮した。馬淵川が遠くまできれいに見えた」と喜びました。

体験終了後は、同青年部会による校庭の砂場整備や駐車場の舗装修理などのボランティア活動が行われました。



高所作業車で高さ約15メートルを体感する児童たち



作付け作業が終了し、「大きくなあれ！」と願いを込める園児と祖父母ら

野菜、大きく育てね 保育園児が作付け体験

葛巻保育園（深澤口久美子園長、園児83人）の3歳以上の園児56人は6月1日、田の沢地区の約300平方メートルの遊休農地に、トウモロコシやジャガイモなど7種類の野菜の作付けを体験し、楽しみながら農作業を学びました。

この取り組みは、町農業委員会が同園の園児を「かがやくふるさとあとつぎ隊」に任命し、農業の担い手確保と遊休農地解消を目指し、7年前から毎年行われています。

町農業委員と浦子内老人クラブ、園児の祖父母らが作業に協力。園児は、種のまき方などを教わり、「大きくなあれ」と願いを込めながら丁寧に植え付けました。今回作付けした野菜は夏以降に収穫し、園児の給食などに使用されます。